



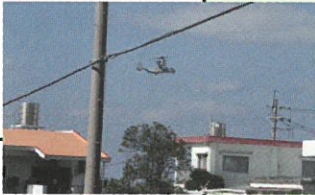
オスプレイの強行配備

疑問が残る安全宣言

2012年9月19日、防衛省・外務省はオスプレイの運用について安全性は十分に確認されたとして安全宣言を行いました。しかし、その内容は、「可能な限り」や「運用上必要となる場合を除き」などの文言が付き、**実際の運用は米軍任せ**となっております。以下、MV-22 オスプレイの沖縄配備について（概要）からの抜粋となります。

- ・飛行経路について、可能な限り学校や病院を含む人口密集地域上空を避けるよう設定し、可能な限り海上を飛行すること
- ・適用される騒音規制措置に関する合同委員会合意事項をMV-22の運用においても引き続き遵守すること

オスプレイに関する動向

2011年	6/6 沖縄防衛局が2012年遅くからオスプレイに換装すると発表 6/13 市庁舎前にてオスプレイ配備に反対する緊急座り込み行動			
2012年	4/12 モロッコにてMV-22 オスプレイ墜落 6/14 米フロリダ州にてCV-22 オスプレイが墜落 6/17 宜野湾市民大会開催 6/19 市長、知事によるオスプレイ配備に係る政府要請 6/29 オスプレイ換装に係る接受国通報 9/6 米ノースカロライナ州にてオスプレイ緊急着陸 9/9 沖縄県民大会開催 9/19 日本政府によるオスプレイの安全宣言 9/25 市長による配備中止を求める県外要請行動 10/1 オスプレイ第一陣配備開始 10/1 市民大会幹事会による県内要請行動 10/9 市長、知事による県外要請行動			
	2013年	1/28 県民大会実行委員会による総理直訴・東京要請行動 7/23 市民大会幹事会による宜野湾市共同声明発表及び県内要請行動 8/3 オスプレイ第二陣配備開始 8/27 米ネバダ州にてオスプレイがハードランディング 11/20 市民大会幹事会による県内要請行動		
		2014年	6/17 普天間飛行場所属のMV-22 オスプレイが訓練飛行中に部品落下 10/1 ペルシャ湾でオスプレイが一時出力停止	
			2015年	5/18 米ハワイ州ペローズ空軍基地においてMV22オスプレイが着陸失敗

普天間飛行場における飛行状況

MV-22 オスプレイ

沖縄防衛局のMV-22 オスプレイ
離着陸回数把握結果 (単位:回)

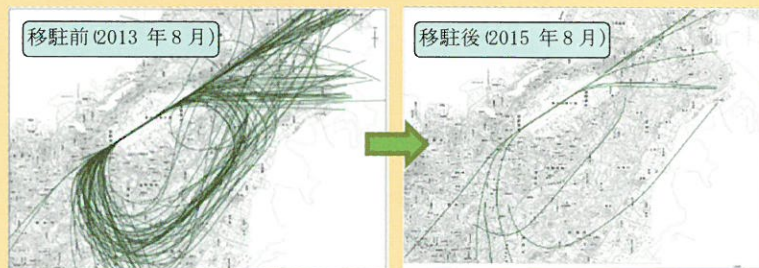
	日中 (0700-1859)	夕方 (1900-2159)	夜間 (2200-0659)	合計
2014年度	2,066	532	137	2,735
2013年度	1,293	310	60	1,663

2015年10月に沖縄防衛局が公表したオスプレイの飛行状況調査結果を見ると、1年を通して24機体制となった2014年度は、夜間の離着陸回数が前年度の約2.3倍となっています。

宜野湾市では引き続き、オスプレイの県外移駐及び県外訓練の促進について求めてまいります。

KC-130 空中給油機

KC-130 移駐前後の飛行状況 (沖縄防衛局HPより)



2015年8月、沖縄の基地負担の軽減をはかるため、普天間飛行場に所属していたKC-130空中給油機全15機の岩国飛行場への移駐が完了しました。

沖縄防衛局の調査によると、移駐前1年間のKC-130の離着陸等回数は月平均141回でしたが、移駐後1年間では月平均30回に減少しました。